

## 松谷会長記者会見の概要

日 時：令和元年 7 月 11 日（木）15 時 00 分～15 時 30 分

場 所：東京証券取引所ビル地下 1 階 兜倶楽部

（質疑応答）

記者：

今月の公募投信の増加額は、今年 1 月以来となる 5 ヶ月ぶりの大きさになったということだが、その要因は何か。

松谷会長：

大きな要因は見当たらないが、世界的な株価の上昇によって投資信託の運用益が残高を押し上げたこと、また日銀の ETF の買い入れにより資金が流入したことが主な理由である。全体としてみれば、6 月の株式市場はそれほど大きな動きはなかったと思う。

記者：

内外株式型や内外資産複合型といったグローバルで運用するタイプの投資信託に資金が流入しているということだが、投資家がこういった判断でこのタイプの投信を購入しているのか。

松谷会長：

メディアの皆様のおかげもあり、グローバルに長期積立分散投資を行うこと、また、株式や債券だけに投資する投信ではなく、ミックスアセット型の投信を購入することが良好なパフォーマンスを保つ要因であることが、投資家の方々に少しずつ認知されてきていると思う。それに加えて、販売会社もこういったタイプの投信を積極的に販売してきたと考えている。

記者：

6 月にグローバルで運用するタイプのファンドに資金が流入している理由は何か。例えば、株価が底打ちしたのではないかと見ている方が多いので、このような結果になったのか。それとも別の理由があるのか。

松谷会長：

資金流入が最も大きかったファンドは、日興アセットマネジメントの「グローバル・プロスペクティブ・ファンド」であり、約 1,135 億円の資金が集まったが、それ以外には大きな動きはないと思う。ただし、各社の販売状況をヒアリングすると、大きな方向性としては、日本だけではなくグローバルに投資する商品、また、株式や債券だけに投資する商品ではなく、ミックスアセット型の商品が多くなっている。

記者：

先月は金融庁の報告書の問題があり、資産運用がメディアで取り上げられる機会が多くなっていると思うが、投資家の関心も高まっているのか。

松谷会長：

関係者から聞くところによると、これまでよりも多くの方から問い合わせがある、また、私どもが開くセミナーにおいて、定員 200 人の会場に 300 人の参加があるといった感じである。長期積立分散投資が広がっていることが、数字として 7 月の統計に現れたら嬉しいと思う。数字として現れてくることを期待しているが、6 月の時点では具体的に何かが起こったわけではない。ただし、本会のホームページのアクセス数も増えているようなので、一般の方々はあの報道をそれほどネガティブに捉えずに、自分の問題として考えられるようになったと理解している。

記者：

一般の方々の関心は高まっているのか。

松谷会長：

関心は高まっている。一時的なものにならないように我々がきちんとフォローしなければならぬと思う。

記者：

毎月決算型ファンドは 2 ヶ月連続で流入超過となっているが、株式投信に占める毎月決算型ファンドの割合は底打ちして、これから上昇していくと考えてよいか。

松谷会長：

株式投信に占める毎月決算型ファンドの割合は、今後上昇するかどうかは分からないが、下げ止まったのではないかと思う。会長就任の記者会見でも申し上げたが、高齢者の方々にとって、老後資産を毎月あるいは隔月にどのように取り崩すかは重要事項になっている。今後、各社が工夫をして商品設計を行い、それが毎月分配型ファンドの統計に反映されれば、残高は増えるのではないかと思う。

記者：

先程、松谷会長は、「資産運用の高まりがブームで終わらないようにしなければならない」と言われたが、具体的に業界全体としてどのようにすればよいと考えているか。

松谷会長：

資産運用は余ったお金を運用するものという発想ではなく、日常生活の中で運用していくという姿勢が大切である。資産運用がこれからの社会を支えていくインフラになるよう

に、各ライフステージに合わせる形で生活を支えるツールであると認識してもらいたい。そして、社会の中に根付いていくように試みる必要がある。

若い世代には、月に 1 万円あるいは 2 万円でも投資をしていくことは、自分たちが暮らしている社会を少しずつ良い方向に動かすことになるということを知ってもらいたい。例えば、年金が足りないからお金を運用するといったアプローチではなく、ESG 投資のように、社会の根本的な部分に対して、当局、運用会社、販売会社、そして本会が働きかけることが重要である。若い世代に対しては、本会からは動画やメールマガジン等で投信の情報を分かりやすく提供しているが、もっと投信を普及させるためには、他にも様々な工夫をしていく必要がある。

以 上